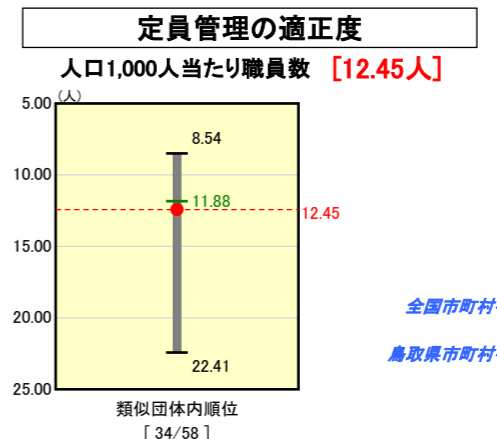
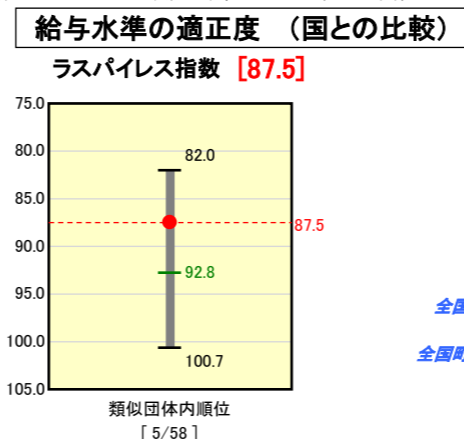
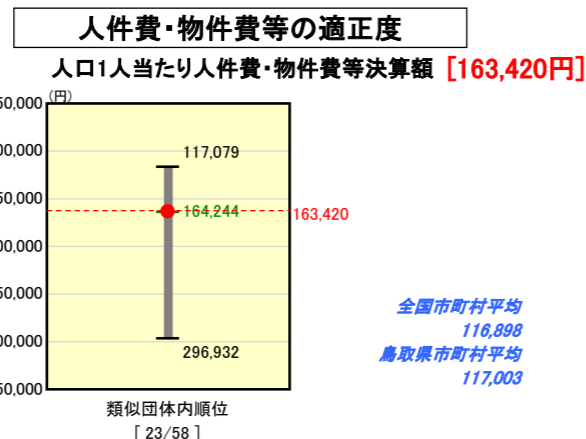
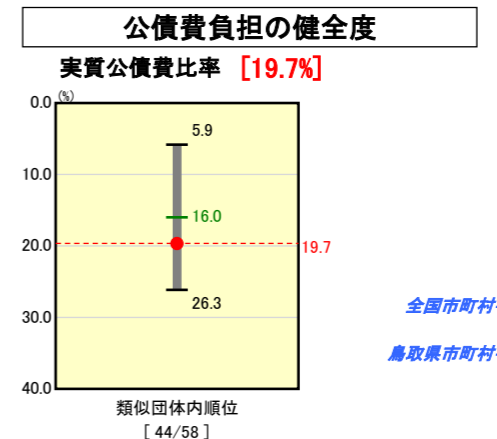
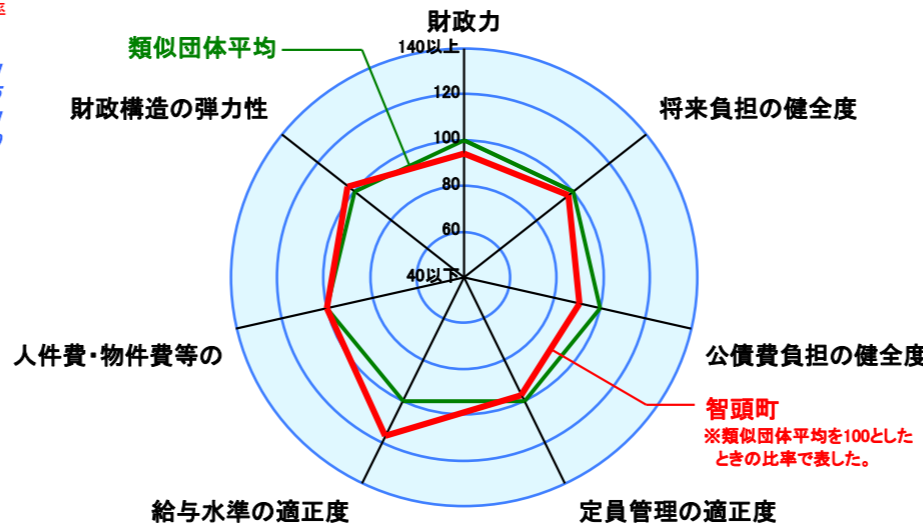
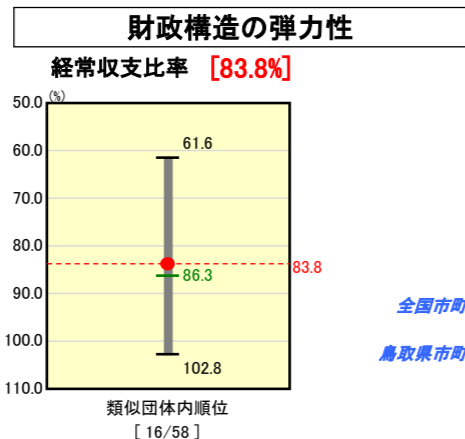
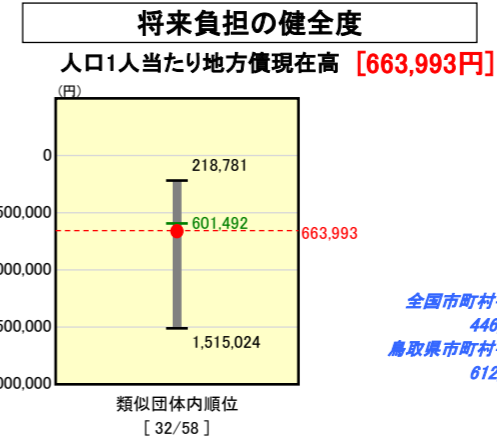
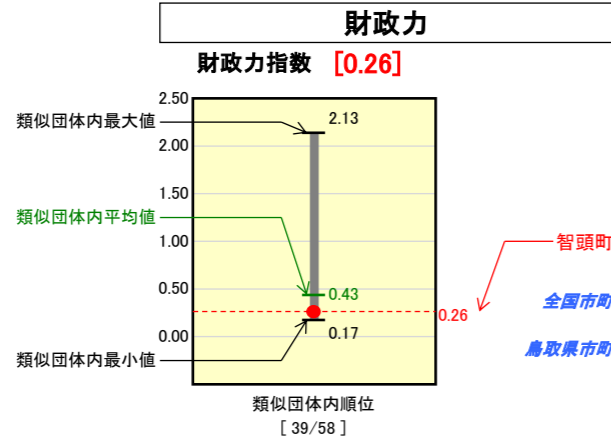


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鳥取県 智頭町

人口	8,517人(H20.3.31現在)
面積	224.61 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,578,881千円
歳出総額	4,391,433千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

智頭町：類型Ⅱ-1(人口5,000人～10,000人、第2次・3次人口比率80%以上かつ第3次人口55%未満)  
平成17年国勢調査数値：人口8,647人、第2次・3次人口比率89.6%、第3次人口比率48.2%

- 財政力指数**  
 人口の減少や法人関係の減収等により財政基盤が弱く、0.26と類似団体平均を大きく下回っている。退職者不補充等による職員数の削減や給与カットによる人件費の削減、投資的経費の抑制等歳出の削減を実施するとともに、町税等の滞納額圧縮など徴収業務の強化に取り組む。
- 経常収支比率**  
 平成15年度から実施している職員等の給与カットによる人件費の削減、事務事業見直しによる事業の廃止縮小等経常経費削減を図ったことにより83.8%と類似団体平均を下回っている。公債費については、平成19年度に償還のピークを迎え、新規事業の抑制により今後縮減が見込まれる。また、事務事業の見直しを更に進め経常経費の削減に努め、町税等の収納率を向上させる等財源の確保に努めることにより、今後も経常収支比率の低下を図る。
- ラスパイレス指数**  
 特別職20%～30%、一般職10.5%～14%の大幅な給与カット実施により、87.5と類似団体のなかでもかなりの低水準にある。今

- 実質公債費比率**  
 償還のピークを迎え、また、病院事業、下水道事業への繰出が増加したため起債許可団体移行基準である18%を超え19.7%となった。平成20年度に策定した公債費負担適正化計画に基づき、新規発行の抑制や、繰出金の抑制に努めることにより平成26年度には16.5%まで低下させる予定である。
- 人口1人当たりの地方債現在高**  
 近年大型事業を実施しなかったため、類似団体平均をやや上回る663,993円となっているが、今後、地域情報化事業、小学校統合事業、中学校改築事業、保育園統合事業を予定しており、新規の地方債発行が見込まれる。適切な事業実施時期の検討や事業規模の整理縮小等により繰出額の抑制を図り、現在水準の維持に努める。
- 人口1,000人当たり職員数**  
 保育園が2園あること、給食センターの直営及び林業関係職員の配置等により類似団体平均をやや上回る12.45人となっている。今後行政改革プランに沿って適切な定員管理に努める。
- 人口1人当たりの人件費・物件費等決算額**  
 類似団体平均をやや下回る163,420円となっているが、人件費の抑制とゴミ処理業務、し尿処理業務、消防業務を一部事務組合で行つ